

平成 23 年度

自治会振興シート調査結果について

平成 23 年 12 月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

少子高齢化や市民ニーズの多様化、コミュニティ意識の希薄化など自治会を取り巻く状況は厳しくなっていますが、その一方で、東日本大震災においては地域住民相互の“絆”がお互いを支え合う大きな力になっているなどその大切さが改めて認識されています。

本市では「共動」を理念に掲げ、第6次総合計画の推進を図ることとしており、安全・安心な地域社会づくりをしていくうえで自治会など住民自治組織が果たす役割は大きく、その活性化を図っていきたいと考えています。

本調査では、自治会の組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、今後の自治会活動の参考とし、自治会の活性化に役立てていくことを目的としています。

2. 調査方法

①自治会振興シートは、「基礎調査票」と「アンケート調査票」の2種類。

- ・基礎調査票は、平成20年度の調査内容の確認と回答を依頼。
- ・アンケート調査票は、設問を55問とし、回答を依頼。

②自治会区域図は、区域線を確認し、変更がある場合は、加筆修正を依頼。

3. 実施期間

7月1日（金）～8月1日（月）

地区担当員が広報と合わせて配布、回収に伺ったほか、市役所市民共動課または最寄りの支所・市民センターに提出。

4. 調査対象

市内192自治会等（各自治会長等に回答を依頼。）

5. 調査結果

送付数 192自治会

回答数 192自治会

回答率 100%

6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各自治会に配布するほか、市ホームページ上で公開します。

その際、自治会名の記載は行わず（問19を除く）、統計的に取り扱うこととします。なお、集計結果に記載された活動内容を参考にしたいという自治会の申し出等があった場合、個別に自治会を紹介することがあります。

※調査結果の割合は、小数点以下第2位を四捨五入しており、一部合計がずれる場合があります。

目 次

自治会振興シート(基礎調査結果).....	1～4
-----------------------	-----

自治会振興シート(アンケート結果)

自治会長や役員について

問 1. 会長の年齢について.....	5
問 2. 会長歴(通算)について.....	5
問 3. 会長の選任方法について.....	6
問 4. 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について.....	6
問 5. 会長の任期について.....	6
問 6. 役員会の開催頻度について.....	7
問 7. 自治会業務の引継ぎについて.....	7
問 8. 自治会業務の引継ぎの方法について.....	7
問 9. 会長及び役員の報酬・謝礼について.....	8～9

年会費について

問 10. 年会費の徴収について.....	9～10
問 11. 年会費の減額について.....	10
問 12. 年会費の徴収方法について.....	11

会員名簿について

問 13. 会員名簿の作成について.....	11
問 14. 会員名簿の更新時期について.....	11
問 15. 会員名簿の集め方について.....	12
問 16. 会員名簿の取り扱いについて.....	12

自治会活動について

問 17. 自治会活動について.....	13～14
問 18. 自治会を運営する上での悩みについて.....	14
問 19. 親交がある自治会について.....	14～17
問 20. 自治会での課題解決について.....	17～18

自治会への加入について

問 21. 自治会への加入率について.....	18
問 22. 居住区域に住んでいない会員について.....	18

問 2 3. 加入促進の取り組みについて	19
--------------------------------	----

自治会の連合組織について

問 2 4. 地区連合組織への加入について	19
問 2 5. 地区連合組織の必要性について	19
問 2 6. 地区連合組織の役割について	20

地域づくり協議会等の主催事業への参加について

問 2 7. 市民センター事業について	20
問 2 8. 市民センター事業に参加しない理由について	21

広報等配布物の配布状況や取り扱いについて

問 2 9. 広報等配布物の範囲について	21
問 3 0. 広報の配布日数について	21
問 3 1. 広報等配布物の取り扱いに関する意見・要望について	22

自治会長会議について

問 3 2. 自治会長会議の開催方法について	23
----------------------------------	----

自治会内の空き家の状況について

問 3 3. 自治会内の空き家について	23
-------------------------------	----

防災について

問 3 4. 自主防災組織について	24
問 3 5. 自主防災組織の結成について	24
問 3 6. 防災訓練について	24
問 3 7. 3 月 1 1 日の地震での活動について	25
問 3 8. 市のメール配信システムについて	25
問 3 9. 自治会区域内の危険な場所について	25
問 4 0. 自治会区域内での一時的な避難場所について	26

自治会館について

問 4 1. 自治会館の有無について	26
問 4 2. 自治会館の所有状況について	26～27
問 4 3. 自治会館の建設時期について	27
問 4 4. 自治会館運営上の課題について	27
問 4 5. 自治会館を所有していない自治会について	27～28

自治会を支援する制度について

問 4 6．自治会振興交付金について・・・・・・・・・・・・・・・・	28
問 4 7．自治会元気づくり応援補助制度の認知度について・・・・・・・・	28
問 4 8．自治会元気づくり応援補助制度の内容について・・・・・・・・	28～29
問 4 9．自治会館建設費補助制度の認知度について・・・・・・・・	29
問 5 0．自治会館建設費補助制度の内容について・・・・・・・・	29
問 5 1．新たに自治会を応援する支援制度等に関する意見・要望について	29
問 5 2．集落支援事業について・・・・・・・・・・・・・・・・	30

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問 5 3．自治会のシンボル・資源・誇りについて・・・・・・・・	30
問 5 4．自治会内の課題について・・・・・・・・・・・・・・・・	31
問 5 5．その他自治会に関する要望や意見などについて・・・・・・・・	31～33

平成 2 3 年度 自治会振興シート（基礎調査結果）

自治会加入の状況

全世帯	自治会加入世帯	自治会非加入世帯	加入率
13,387	10,896	2,491	81.4%

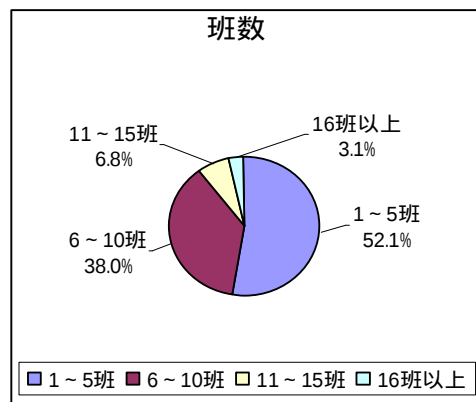
「全世帯」は住民基本台帳による世帯数（平成 23 年 9 月 30 日現在）

全 13,387 世帯のうち、「自治会加入世帯」が 10,896 世帯、「加入率」は 81.4%という結果になりました。より良い地域社会の形成を目指して、自治会への加入促進に努めていく必要があります。

自治会の構成

班数

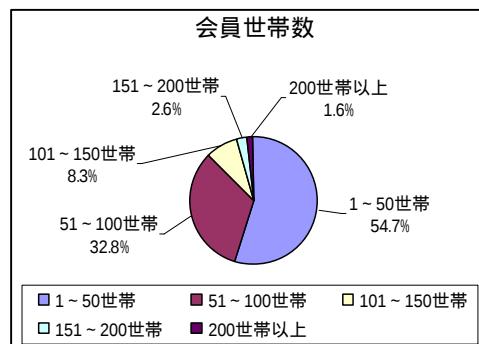
班数	自治会	割合
1～5 班	100	52.1%
6～10 班	73	38.0%
11～15 班	13	6.8%
16 班以上	6	3.1%
計	192	100%



自治会の構成は、「5 班以下」で構成されている自治会が 100 自治会（52.1%）であることが分かりました。自治会の規模に応じた班数構成で運営していることが伺えます。

会員世帯数

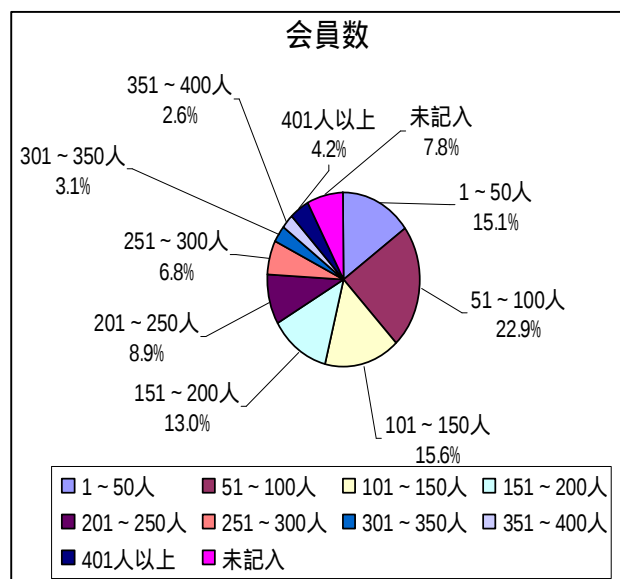
会員世帯数	自治会	割合
1～50 世帯	105	54.7%
51～100 世帯	63	32.8%
101～150 世帯	16	8.3%
151～200 世帯	5	2.6%
200 世帯以上	3	1.6%
計	192	100%



会員世帯数は、「1～50 世帯以下」の自治会が 105 自治会（53.7%）、「51～100 世帯」の自治会が 63 自治会（32.8%）であることが分かりました。今後、人口減少に伴い 50 世帯以下で構成される自治会が増えていくことが予想されます。

会員数

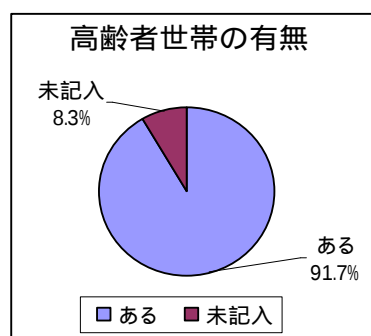
会員数	自治会	割合
1～50人	29	15.1%
51～100人	44	22.9%
101～150人	30	15.6%
151～200人	25	13.0%
201～250人	17	8.9%
251～300人	13	6.8%
301～350人	6	3.1%
351～400人	5	2.6%
401人以上	8	4.2%
未記入	15	7.8%
計	192	100%



自治会員数は、「1～50人」が29自治会（15.1%）、「51～100人」が44自治会（22.9%）、「101～150人」が30自治会（15.6%）と150人までの比較的小規模な自治会が53.6%と過半数を占めています。

65歳以上の高齢者世帯

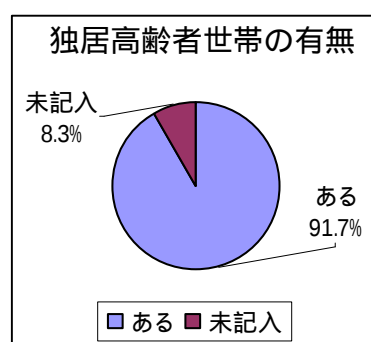
65歳以上の高齢者世帯	自治会	割合
ある	176	91.7%
未記入	16	8.3%
計	192	100%



自治会内の65歳以上の
高齢者世帯の合計 3,311世帯（各自治会記入）

ひとり暮らしの高齢者世帯

独居高齢者世帯	自治会	割合
ある	176	91.7%
未記入	16	8.3%
計	192	100%



自治会内のひとり暮らしの
高齢者世帯の合計 1,204世帯（各自治会記入）

176自治会（91.7%）が65歳以上の高齢者世帯があるとしており、さらにひとり暮らしの高齢者世帯の有無も同様でした。世帯数の記入があった自治会のうち、ひとり暮らしの高齢者世帯は1,204世帯でした。高齢化に伴い、今後もひとり暮らしの高齢者世帯が増加することが予想されます。

自治会の組織体制の状況

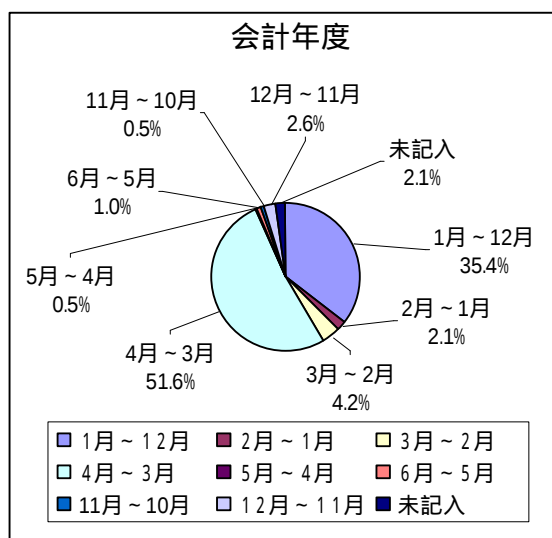
(複数回答有)

組織体制	自治会	割合
青年会のある自治会	65	42.5%
婦人会のある自治会	96	62.1%
子供会のある自治会	136	88.2%
老人クラブのある自治会	98	63.4%
その他	16	10.5%

未回答の自治会を除くと、148自治会で子ども会や婦人会、老人クラブなど何らかの組織があることが分かりました。その他にも消防団や農事組合など、自治会内で様々な組織が活動しています。

会計年度

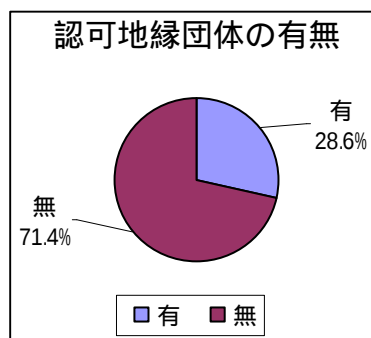
会計年度	自治会	割合
1月～12月	68	35.4%
2月～1月	4	2.1%
3月～2月	8	4.2%
4月～3月	99	51.6%
5月～4月	1	0.5%
6月～5月	2	1.0%
11月～10月	1	0.5%
12月～11月	5	2.6%
未記入	4	2.1%
計	192	100%



会計年度は、「4月～3月」が最も多く99自治会(51.6%)を占めました。次いで「1月～12月」が68自治会(35.4%)であり、ほとんどの自治会が会計年度のスタートを4月か1月に設定していることが分かりました。

地縁団体認可状況

認可地縁団体	自治会	割合
有	55	28.6%
無	137	71.4%
計	192	100%



認可地縁団体として法人格を取得した自治会は、55 自治会（28.6％）となっています。今後も認可地縁団体のメリットや申請手続き等について、様々な機会を通して周知に取り組んでいきます。

所 有 財 産

所有財産	自治会	割合
有	80	41.7%
未記入	112	58.3%
計	192	100%

所有財産の管理状況（80 自治会中）

（複数回答有）

財産管理状況	自治会	割合
宅地（会館用地含む）	65	33.9%
山林	38	19.8%
その他	28	14.6%

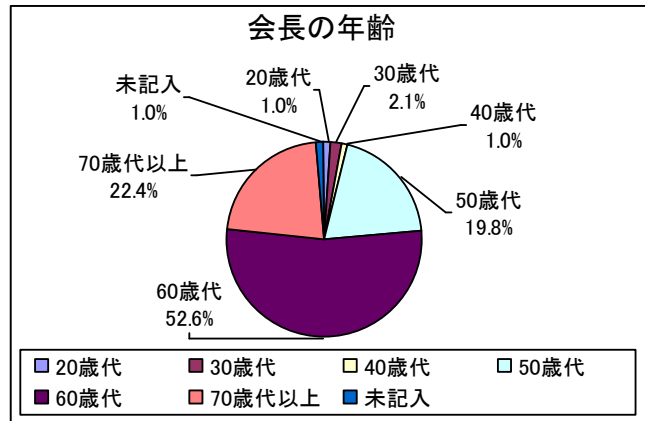
財産を所有していると回答した自治会は、80 自治会（41.7％）でした。その内訳は、宅地（会館用地）や山林のほか、運動場や神社などを所有している自治会もありました。

平成23年度 自治会振興シート（アンケート結果）

自治会長や役員についておたずねします。

問1 会長の年齢はいくつですか。

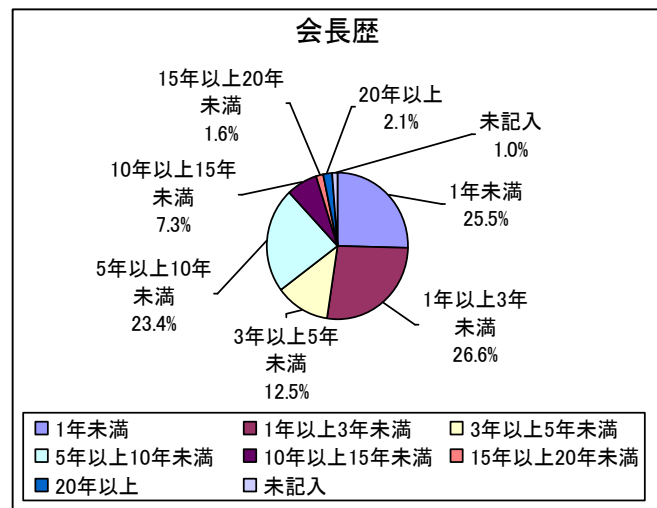
年齢	自治会	割合
20 歳代	2	1.0%
30 歳代	4	2.1%
40 歳代	2	1.0%
50 歳代	38	19.8%
60 歳代	101	52.6%
70 歳代以上	43	22.4%
未記入	2	1.0%
計	192	100%



自治会長の年齢は、「60 歳代」が 101 自治会（52.6%）と最も多く、続いて「70 歳代以上」が 43 自治会（22.4%）と続き、定年を過ぎた世代が 4 分の 3 を占める結果となりました。人生経験が豊富で、時間に比較的余裕があり、元気に動くことができる「60 歳代」の会長が一番多いことが分かりました。

問2 会長歴（通算）は何年ですか。

通算年数	自治会	割合
1 年未満	49	25.5%
1 年以上 3 年未満	51	26.6%
3 年以上 5 年未満	24	12.5%
5 年以上 10 年未満	45	23.4%
10 年以上 15 年未満	14	7.3%
15 年以上 20 年未満	3	1.6%
20 年以上	4	2.1%
未記入	2	1.0%
計	192	100%

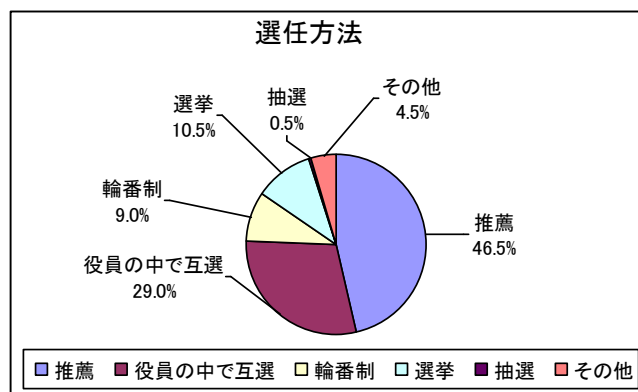


自治会の会長歴は、会長の任期が 1 年ないし 2 年交代の自治会が多いこともあり「3 年未満」の会長が 52.1%を占める結果となりました。その一方で「3 年以上」務めている会長は 46.9%と、再任により規定された任期よりも長く務めているケースが想定されます。

問3 会長はどのように選任していますか。

(複数回答有)

選任方法	自治会	割合
推薦	93	46.5%
役員の中で互選	58	29.0%
輪番制	18	9.0%
選挙	21	10.5%
抽選	1	0.5%
その他	9	4.5%
計	200	100%



会長の選出方法は、「推薦」が93自治会(46.5%)、「役員の中で互選」が58自治会(29.0%)で合わせて全体の4分の3を占めました。そのほかに「選挙」や「輪番制」などがありました。

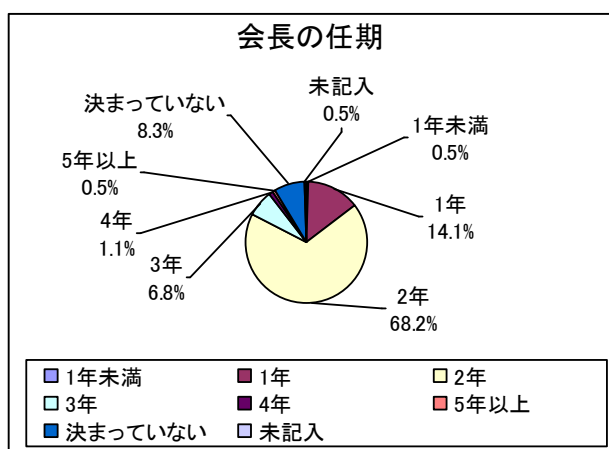
問4 会長や役員の交代を円滑に行うため、どのような工夫をしていますか。

役員の交代を円滑に行うための工夫	自治会	割合
事前に役員会を開き、人選協議をしている	102	53.1%
会長は役員の中で輪番制で選任している	12	6.3%
各班は役員を選出し、その中から会長を選出する	7	3.6%
総会にて選考委員会を行う	3	1.6%
その他	8	4.2%
未記入	60	31.3%
計	192	100%

「事前に役員会等で人選協議している」が102自治会(53.1%)であることが分かりました。一部には人材不足のため半強制的に決定している自治会もありました。

問5 会長の任期は何年ですか。

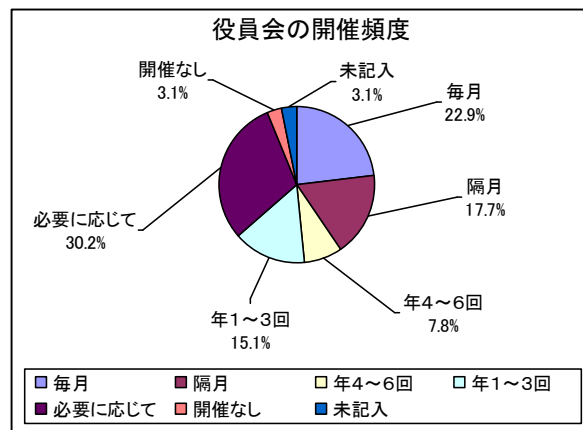
会長任期	自治会	割合
1年未満	1	0.5%
1年	27	14.1%
2年	131	68.2%
3年	13	6.8%
4年	2	1.1%
5年以上	1	0.5%
決まっていない	16	8.3%
未記入	1	0.5%
計	192	100%



自治会長の任期は「2年交代」が最も多く131自治会(68.2%)を占めました。任期が決まっても、再選され、会長を複数年務めている方もいました。

問6 役員会は1年間にどの程度の頻度で開催していますか。

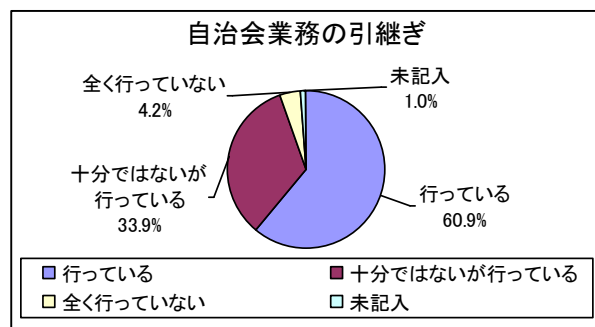
開催頻度	自治会	割合
毎月	44	22.9%
隔月	34	17.7%
年4～6回	15	7.8%
年1～3回	29	15.1%
必要に応じて	58	30.2%
開催なし	6	3.1%
未記入	6	3.1%
計	192	100%



役員会の開催頻度は2ヵ月に1回や行事の前など「必要に応じて」が58自治会（30.2%）、「毎月」が44自治会（22.9%）でした。また、役員会がない自治会もありました。

問7 役員交代時に自治会業務の内容引継ぎを行っていますか。

自治会業務の引継ぎ	自治会	割合
行っている	117	60.9%
十分ではないが行っている	65	33.9%
全く行っていない	8	4.2%
未記入	2	1.0%
計	192	100%

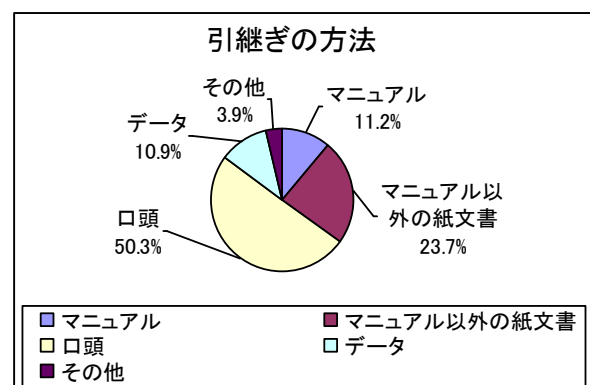


「行っている」が117自治会（60.9%）、「十分ではないが行っている」が65自治会（33.9%）とほとんどの自治会が役員交代時に業務の引継ぎを行っていることが分かりました。

問8 自治会業務の内容引継ぎはどのような形でされていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

（複数回答有）

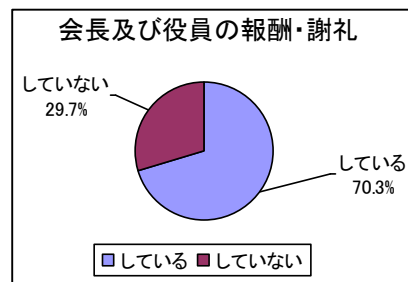
引継ぎの方法	自治会
マニュアル	32
マニュアル以外の紙文書	62
口頭	127
データ	47
その他	10



引継ぎの方法に「マニュアル」を作成している自治会が32自治会、「マニュアル以外の紙文書」で引継ぎしている自治会が62自治会ありました。「マニュアル」や「紙文書」、「データ」の引継ぎを行いながら「口頭」で説明するパターンが多いものと推察されます。

問9 会長及び役員に対して報酬や謝礼を支出していますか。

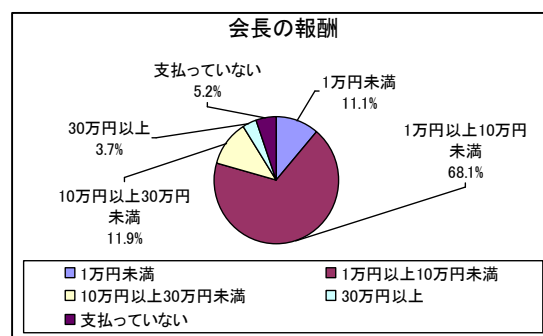
報酬の支出	自治会	割合
している	135	70.3%
していない	57	29.7%
計	192	100%



○金額（年額）はいくらですか。（報酬を支出している 135 自治会の回答）

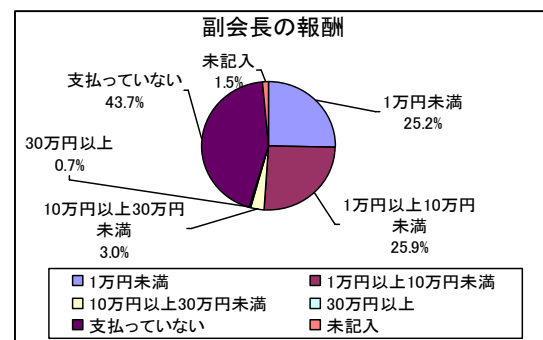
会長の報酬について

金 額	自治会	割合
1 万円未満	15	11.1%
1 万円以上 10 万円未満	92	68.1%
10 万円以上 30 万円未満	16	11.9%
30 万円以上	5	3.7%
支払っていない	7	5.2%
計	135	100%



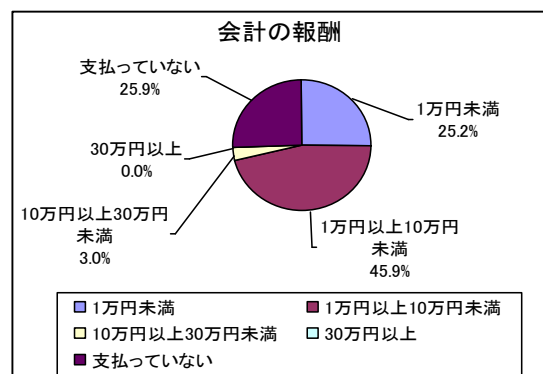
副会長の報酬について

金 額	自治会	割合
1 万円未満	34	25.2%
1 万円以上 10 万円未満	35	25.9%
10 万円以上 30 万円未満	4	3.0%
30 万円以上	1	0.7%
支払っていない	59	43.7%
未記入	2	1.5%
計	135	100%



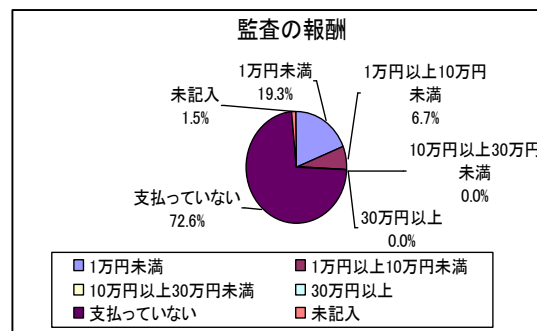
会計の報酬について

金 額	自治会	割合
1 万円未満	34	25.2%
1 万円以上 10 万円未満	62	45.9%
10 万円以上 30 万円未満	4	3.0%
30 万円以上	0	0.0%
支払っていない	35	25.9%
計	135	100%



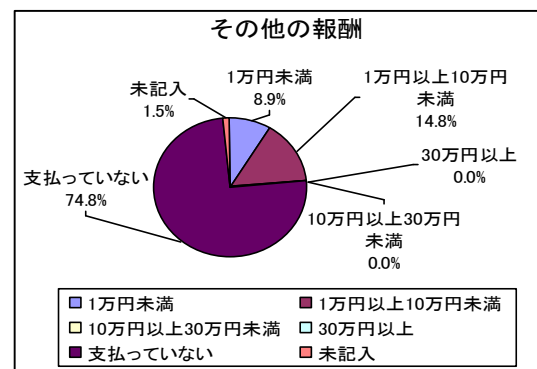
監査の報酬について

金 額	自治会	割合
1 万円未満	26	19.3%
1 万円以上 10 万円未満	9	6.7%
10 万円以上 30 万円未満	0	0.0%
30 万円以上	0	0.0%
支払っていない	98	72.6%
未記入	2	1.5%
計	135	100%



その他の報酬について

金 額	自治会	割合
1 万円未満	12	8.9%
1 万円以上 10 万円未満	20	14.8%
10 万円以上 30 万円未満	0	0.0%
30 万円以上	0	0.0%
支払っていない	101	74.8%
未記入	2	1.5%
計	135	100%

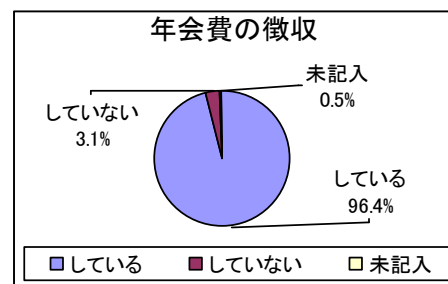


会長や役員に対して報酬や謝礼を支出している自治会は 135 自治会（70.3%）と、多くの自治会で支出していることが分かりました。会長の報酬額としては、「1 万円未満」、「1 万円以上 10 万円未満」と回答した自治会が合わせて 79.2%を占めたものの、30 万円以上を支出している自治会もありました。また、会長以外の役員に支出していない自治会があったことから、自治会の会計や役員報酬に対する考え方により差異が見られる結果となりました。

年会費についておたずねします。

問 10 年会費を徴収していますか。

年会費	自治会	割合
している	185	96.4%
していない	6	3.1%
未記入	1	0.5%
計	192	100%



○年会費の内訳

年会費の内訳	自治会	割合
500 円～1,000 円	7	3.6%
1,001 円～5,000 円	20	10.4%
5,001 円～10,000 円	79	41.1%
10,001 円～20,000 円	61	31.8%
20,001 円～50,000 円	17	8.9%
未記入	8	4.2%
計	192	100%

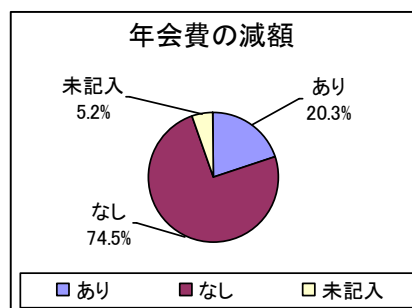
○年会費の中で回答の多い順

順位	年会費	自治会
①	12,000 円	34
②	6,000 円	31
③	10,000 円	14
④	7,200 円	9
⑤	8,400 円	8
⑥	18,000 円	6
⑥	24,000 円	6
⑧	4,800 円	5
⑧	7,000 円	5
⑧	15,000 円	5
⑧	20,000 円	5

年会費を徴収している自治会は 185 自治会（96.4%）であることが分かりました。年会費の金額はそれぞれの自治会によって様々ですが、12,000 円が 34 自治会と最も多く、次に 6,000 円が 31 自治会でした。

問 1 1 会員（一般世帯）の年会費について、減額している世帯はありますか。

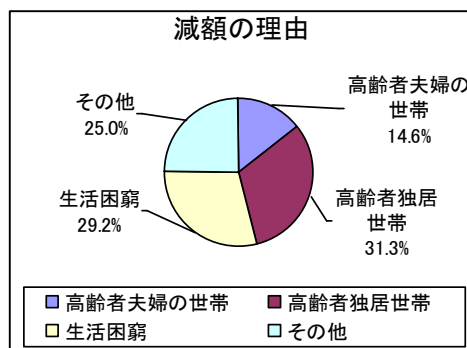
減額世帯	自治会	割合
あり	39	20.3%
なし	143	74.5%
未記入	10	5.2%
計	192	100%



○減額している場合、その理由は何ですか。

（複数回答有）

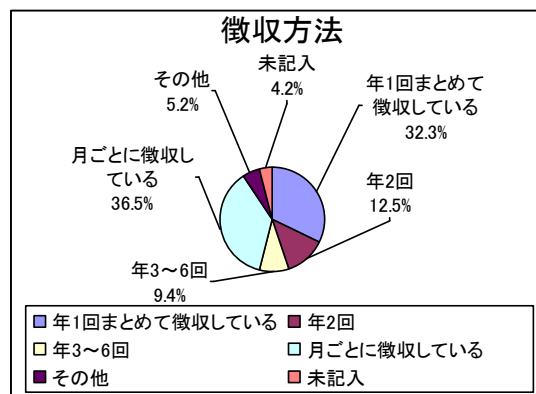
減額理由	自治会	割合
高齢者夫婦の世帯	7	14.6%
高齢者独居世帯	15	31.3%
生活困窮	14	29.2%
その他	12	25.0%
計	48	100%



年会費を減額している世帯がある自治会は 39 自治会（20.3%）でした。減額している理由は、「高齢者独居世帯」が 15 自治会（31.3%）、「生活困窮」が 14 自治会（29.2%）となっており、生活困難な方を対象としていることが分かりました。

問 1 2 会費の徴収方法はどのようにしていますか。

会費の徴収	自治会	割合
年 1 回まとめて徴収している	62	32.3%
年 2 回	24	12.5%
年 3～6 回	18	9.4%
月ごとに徴収している	70	36.5%
その他	10	5.2%
未記入	8	4.2%
計	192	100%

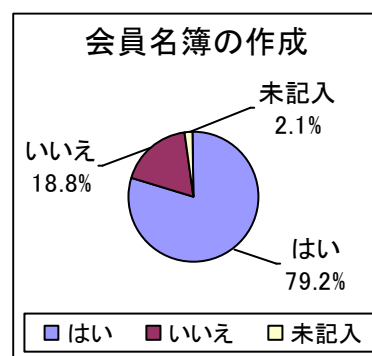


会費の徴収方法については、「月ごとに徴収している」が 70 自治会（36.5%）、「年 1 回まとめて徴収している」が 62 自治会（32.3%）であることが分かりました。その他の回答としては、会員ごとに徴収方法を決めている自治会や、高齢者の安否確認を含めて毎月徴収している自治会もありました。

会員名簿についておたずねします。

問 1 3 会員名簿は作成していますか。

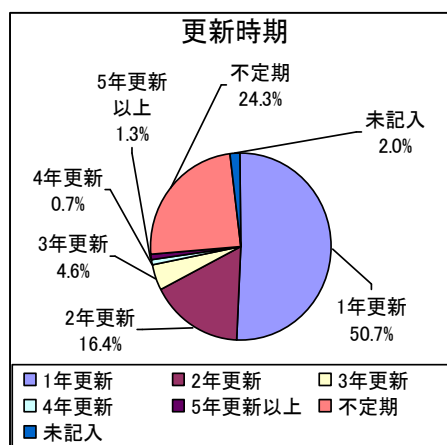
区分	自治会	割合
はい	152	79.2%
いいえ	36	18.8%
未記入	4	2.1%
計	192	100%



名簿を作成しているのは 152 自治会（79.2%）と約 8 割の自治会で名簿があることが分かりました。今回のアンケートでは名簿の掲載内容を調査していませんが、各自治会によって、世帯主のみを掲載しているものと、加入世帯員全員を掲載しているものがあるようです。

問 1 4 会員名簿の更新時期は概ねいつごろですか。（会員名簿作成の 152 自治会）

更新期間	自治会	割合
1 年更新	77	50.7%
2 年更新	25	16.4%
3 年更新	7	4.6%
4 年更新	1	0.7%
5 年更新以上	2	1.3%
不定期	37	24.3%
未記入	3	2.0%
計	152	100%



名簿の更新は、「1年更新」が77自治会（50.7%）、「2年更新」が25自治会（16.4%）、「3年更新」が7自治会（4.6%）と名簿を作成している自治会の71.7%が3年以内を目途に更新を行っていることが分かりました。その他、「不定期」など会員が増減する度に更新しているところもありました。

問15 名簿はどのように集めていますか。

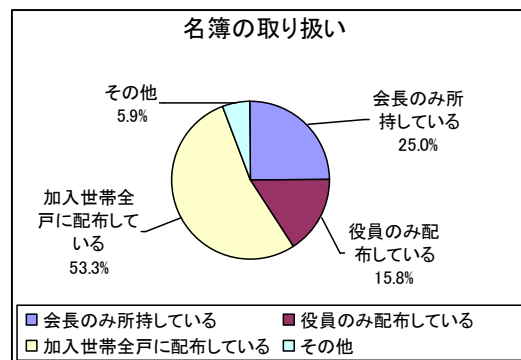
（自由記載のうち、主な回答）

①名簿作成に同意を得た世帯のみ掲載している
②各班長が自治会員の同意を求めている
③全戸加入していて、各家から届け出が無い場合は昨年と同一
④各世帯に対し、名簿記入用紙を配布、任意提出
⑤市からの「世帯移動のお知らせ」を基に
⑥◎印：寝たきりの方。○印：一人で避難できない方。と名簿に記載
⑦入居時に聴取している

名簿の更新方法としては、「各班長が聞き取り等で更新」するケースが多くありましたが、会員の入れ替えがあまりない地域などでは「転出入など、変更がある度に名簿を更新」するケースがありました。また、会長が直接名簿を回収する自治会や毎年の総会で確認しあう自治会などもありました。名簿の掲載については「同意が得られた世帯」や、「同意を得られた事項だけ掲載している」自治会もありますが、中には、会員に記号をつけてどのような状態の方なのかわかるような工夫をしている自治会もありました。

問16 名簿はどのような取扱いをしていますか。

名簿の取扱い	自治会	割合
会長のみ所持している	38	25.0%
役員のみ配布している	24	15.8%
加入世帯全戸に配布している	81	53.3%
その他	9	5.9%
計	152	100%



名簿を「加入世帯全戸に配布している」が81自治会（53.3%）で、半数以上が全戸配布という結果になりました。「会長のみ所持している」や「役員のみ配付している」自治会もあることから、自治会によって名簿（個人情報）の取扱いに慎重になっていることが伺えます。

自治会活動についておたずねします。

問 17 自治会活動で現在行っている活動や負担が大きいと思っている活動、今後新たに
行いたい活動、他の自治会との連携について、該当する欄に○をつけてください。

活動項目	①現在、継続して行っている活動			②今後、新たに行いたいと考えている活動	
		左の内、負担が大きいと思っている活動	左の内、他の自治会と連携して行っている活動	単独で行いたい活動	他の自治会と連携して行いたい活動
1. 住民への連絡	169	5	3	1	0
2. 市送付文書の回覧等	179	7	0	1	0
3. 広報の配布	181	9	0	1	0
4. 地域清掃（クリーンアップ）	167	0	11	2	5
5. 道路の維持補修	79	17	4	1	4
6. 公園草刈りや管理	103	7	4	1	1
7. 農道・農地・農業用水路の管理	69	15	12	1	5
8. 堰根上げ、河川敷地の草刈り	89	18	18	2	3
9. 防犯活動（巡回活動）	37	1	3	9	9
10. 防災活動（避難訓練、防火訓練など）	56	4	5	25	19
11. 交通安全活動（子供の見守りなど）	75	1	3	9	6
12. 花壇づくり	72	7	6	6	4
13. 資源ごみの回収	64	3	1	4	1
14. 独居老人の訪問	83	5	1	12	0
15. 高齢者宅等の除雪	56	6	1	12	3
16. 敬老会	96	2	5	5	1
17. 運動会	78	7	21	1	5
18. スキー大会	26	8	3	0	2
19. 祭り、伝統行事等	114	8	14	2	7
20. 学習会等	33	2	2	2	3
21. 葬儀手伝い	114	2	3	1	0
22. 交流会	76	1	7	5	5
23. 子供会	109	0	12	4	4
24. 学校行事への参加	32	2	0	1	2
25. 自治会報の発行	34	1	0	7	1
26. ホームページの開設	1	2	0	1	1
27. 募金（戸別訪問）	115	15	1	1	0
28. 行政機関への要望	124	3	6	5	4
29. その他	3	0	0	0	0

※その他の回答 盆踊り、福祉活動 夏休みラジオ体操

自治会で実施している活動で多いものは、広報配布や回覧等を除くと①「地域清掃（クリーンアップ）」、②「行政機関への要望」、③「募金活動（戸別訪問）」、④「祭り、伝統行事等」、④「葬

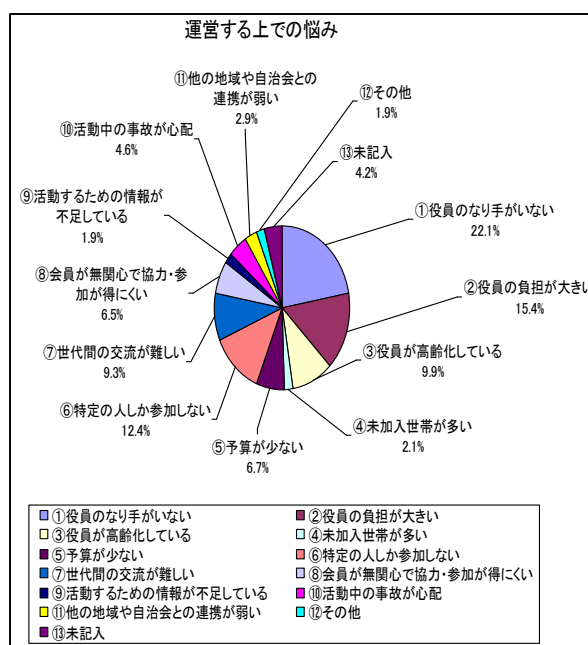
儀手伝い」という順番になりました。地域清掃は居住環境をきれいにしながら会員同士が顔見知りになる機会にもなっており、気軽に取り組める活動として多くの自治会で行われているようです。

負担が大きいと感じている活動は、①「堰根上げ、河川敷地の草刈り」、②「道路の維持補修」、③「農道・農地・農業用水路の管理」が上位に挙げられており、理由としては人手不足や会員の高齢化によるものと推察されます。

今後、行いたいと考えている活動で多いものは、①「防災活動（避難訓練、防火訓練など）」、②「独居老人の訪問」、②「高齢者宅等の除雪」などが挙げられています。防災活動に関しては、東日本大震災の影響により、今後行いたいと考えている自治会が多いことが分かりました。

問 1 8 自治会を運営する上でどのようなことに悩んでいますか。（3つ選んでください。）

運営する上での悩み	自治会
①役員のなり手がいない	105
②役員の負担が大きい	73
③役員が高齢化している	47
④未加入世帯が多い	10
⑤予算が少ない	32
⑥特定の人しか参加しない	59
⑦世代間の交流が難しい	44
⑧会員が無関心で協力・参加が得にくい	31
⑨活動するための情報が不足している	9
⑩活動中の事故が心配	22
⑪他の地域や自治会との連携が弱い	14
⑫その他	9
⑬未記入	20

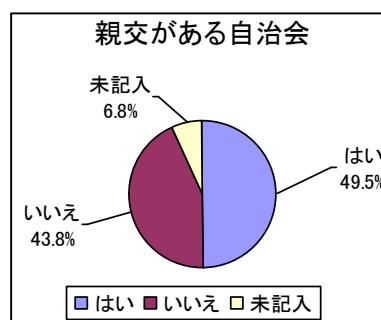


自治会運営上の悩みは「役員のなり手がいない」が 105 自治会と最も多く、「役員の負担が大きい」、「役員のなり手がいない」ことが要因になっているといえます。

また、「特定の人しか参加しない」、「会員の高齢化」、「世代間の交流が難しい」を選択した自治会もあることから、自治会を運営するうえで様々な課題があることが伺えます。

問 1 9 自治会活動において、親交やつながりの深い地区または自治会はありますか。

区分	自治会	割合
はい	95	49.5%
いいえ	84	43.8%
未記入	13	6.8%
計	192	100%



八幡平地区

交流のある自治会	活動や行事
四ヶ部落協議会 (水沢、熊沢、谷内、永田)	水路維持、管理、堰根上げ
水沢、熊沢	運動会、盆踊り
谷内、永田	運動会
長嶺、川部	運動会、大日堂舞楽、スキー大会
小豆沢、大里	管理委員会（同一カ所に簡易水道水源地がある）
大里、葛岡	老人クラブ活動、消防、運動会、スキー大会等
玉内、葛岡	子ども会、学校行事
長牛、夏井	養豚悪臭対策
長牛、桃枝	老人クラブ
白欠、長内	老人クラブ、市民運動会等
三ヶ田、大久保、荒町	堰根上げ、体育協会行事、共有林林道整備、神社祭典
黒沢、石鳥谷	運動会等

尾去沢地区

交流のある自治会	活動や行事
米代地区4自治会 (尾去、下モ平、西道口、蟹沢)	スポーツ、郷土芸能
西道口、尾去、下モ平、 蟹沢、山方、三ツ矢沢	尾去八幡神社の例大祭の開催 山神社祭典への協力
山方、軽井沢	子ども会行事、運動会、スキー大会、市民行事等
中新田、下新田	クリーンアップ、花見会、敬老会、市民運動会、 道路等補修、堰根上げ
水晶山、上山、下タ町	神社の草刈り作業等

十和田地区

交流のある自治会	活動や行事
城ノ下、五軒町、南	古より、五城南として一つのグループであった
上町、下町、川原	市民運動会、防災活動
土ヶ久保、中野	市民運動会、堰根上げ
蟹沢、三の丸	運動会
大欠、松山、土深井、 瀬田石、石野	防災活動、農業用水維持管理（集落排水事業）、 ほ場整備事業
長者久保、高清水、芦名沢	運動会、運動公園の草刈り
上芦名沢、下芦名沢	市道、農道、林道の草刈り等
上芦名沢、下芦名沢、 高清水、長者久保	山根運動会
関上、大川原、腰廻	今後防災面で協力
大川原、関上、蟹沢、中野	堰根上げ、水路管理

大欠、松山、土深井、石野	役員交流会（年１回）、末広小学校行事（運動会等）
浜田、古川、根市戸	坂の草刈り、堰根上げ（年１回）
下野添団地、浜田	子ども会活動
浜田、根市戸	運動会
荒瀬町、中岱	町内会館維持管理、盆踊、大太鼓、子ども会
湯の岱、上町、中田	
丁内、下ノ湯、川原ノ湯	下三町演芸会、夏祭り
丁内、下ノ湯	観桜会
根市、上町、中町	
草木地域６自治 （二本柳、下草木、中草木、 新田、砂派、丸館）	草木小学校、地域交流運動会（H23 から）
下草木、新田、砂派	神社の祭典
丸館、下草木	

花輪地区

交流のある自治会	活動や行事
沢口一区、館盆坂、馬場、 荒屋敷、上野	
沢口一区、沢口二区	
新田町、新田町農家、 新田町三区	祭り、伝統行事等
新田町、新田町農家、 新田町三区、舟場町、 舟場三区	葬祭、伝統行事、子供会、老人クラブ
舟場町、舟場三区	地藏尊祭典
六日町、谷地田町、 大町、新町	祭典、町おどり等
大町、坂ノ上	道路清掃、花壇作り
新町、下堰向	子ども会大太鼓練習、幸稲荷神社の祭典
新町、横町袋丁	元々は新町横町袋丁で、お祭り等行事を行っていた
川原町、横丁	祭り
上堰向、上旭町	自治会内の交流会で協力してもらっている
中堰向、大町	祭事、神事
旭町一区、旭町二区	花壇作り、除雪、学習会、伝統行事
旭町三区、旭町二区	隣組合
沢小路、組丁	
東山、東山住宅、案内、古館	花見、４地区自治会の交流会（年に１回）
下夕町、沢小路、組丁	福土川の水質や河川工事についての情報交換
小坂一区、小坂二区、小坂三区	定期合同事業：自治会館、道路側溝清掃事業、地区運動会

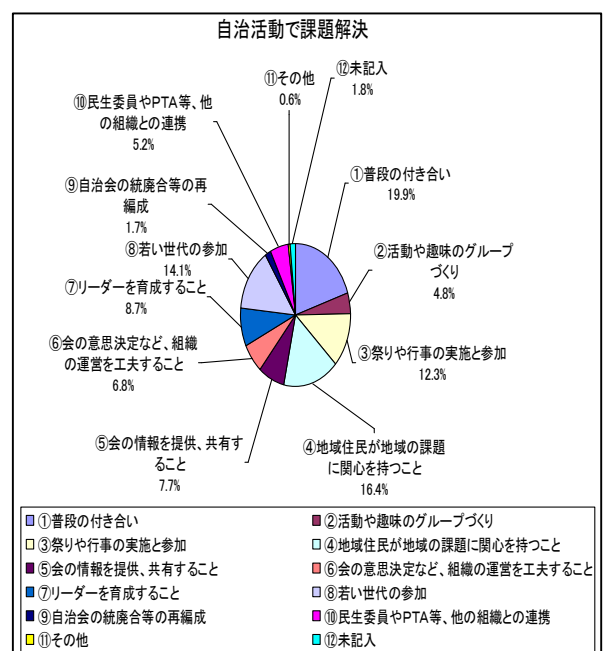
通称：小坂自治会「三位一体」	市民運動会、自治会祭典、どんと焼き、冬の運動競技、その他臨時行事 組織体制：小坂婦人会、子供会、健生会（老人クラブ）、事業委員会、会館委員会
鏡田、小深田	山林整備活動、神社を共有管理
7ヶ部落連絡協議会（高屋、下川原、狐平、用野目、鏡田、花軒田、曲沢）	マスの放流活動（漁協との連携）、農地水向上対策事業の情報交換、西山養豚の公害（臭い）問題
間瀬川流域四ヶ部落自治会（上台、長野、高市、鶴田）	神社参拝（水、豊作祈願）行事、交流研修会 団体等の役員選出や選挙関係
乳牛一区、乳牛二区	
西町、東町	堰根上げ
新斗米、小平	用水路、林道等の管理（草刈り）
平元地区7自治会（小平、館、小枝指、寺坂、級ノ木、新斗米、菩提野）	平元コミュニティ活動、クリーンアップ、防犯、防災活動等
長野、上台、高市、鶴田	地域内環境保全等の要望の取りまとめ
館、小枝指、級ノ木	春の堰根上げ

親交やつながりの深い地区又は自治会があるのは95自治会（49.5%）であることが分かりました。いっしょに活動している内容として、清掃活動や道路・用水路の維持管理、祭り行事などを行っていました。昔は一つであった関係から連携を進めている自治会のほか、地域行事など特定の目的のために協力をしている自治会もありました。また、世帯数が少ない自治会は近隣の自治会と合同で行わないと出来ない活動もあるように見受けられます。

問20 自治会活動において、課題を解決するために必要なことは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

（複数回答有）

課題解決に必要なこと	自治会
①普段の付き合い	144
②活動や趣味のグループづくり	35
③祭りや行事の実施と参加	89
④地域住民が地域の課題に関心を持つこと	119
⑤会の情報を提供、共有すること	56
⑥会の意思決定など、組織の運営を工夫すること	49
⑦リーダーを育成すること	63
⑧若い世代の参加	102
⑨自治会の統廃合等の再編成	12
⑩民生委員やPTA等、他の組織との連携	38
⑪その他	4
⑫未記入	13

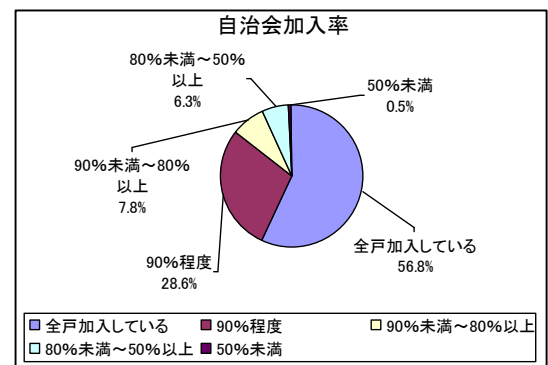


自治会活動における課題の解決に必要なことでは、144 自治会が「普段の付き合い」を重視していることが分かりました。続いて 119 自治会が「地域住民が地域の課題に関心を持つこと」と回答しており、住民が自ら居住する地域の課題に向き合うことが必要との結果になりました。どうしたら課題の解決につながるか、一緒になって考えていく必要があります。また、102 自治会が「若い世代の参加」を必要と回答していることから、若い世代の自治会活動への参加が減少しているものと推察されます。

自治会への加入についておたずねします。

問 2 1 自治会の加入率は概ねどのくらいですか。

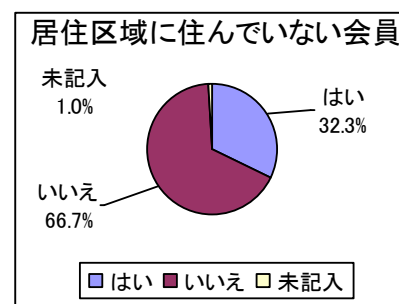
自治会加入率	自治会	割合
全戸加入している	109	56.8%
90%程度	55	28.6%
90%未満～80%以上	15	7.8%
80%未満～50%以上	12	6.3%
50%未満	1	0.5%
計	192	100%



自治会の加入率は「全戸加入している」が 109 自治会（56.8%）であり、「90%程度」までを含めると加入率は 85.4%と、比較的高い加入率の自治会が多いことが分かりました。しかし、50%以上 90%未満の加入率の自治会が 14.1%あることから、区域内にアパートなどがあり、自治会に加入していないケースが推察されます。

問 2 2 自治会区域内に居住していない会員はいますか。（引越し等で居住区域が変わっても、自治会内に引き続き会員として加入されている方など）

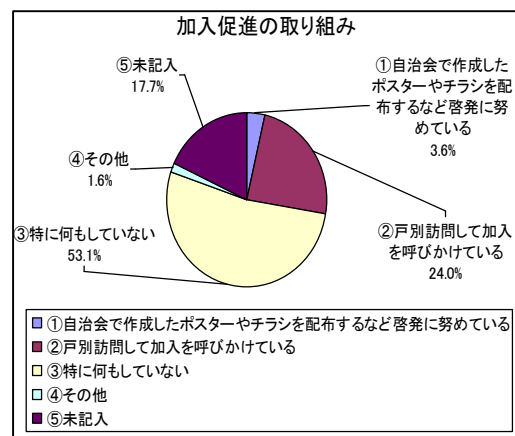
区分	自治会	割合
はい	62	32.3%
いいえ	128	66.7%
未記入	2	1.0%
計	192	100%



自治会区域内に居住していない会員がいる自治会が 62 自治会（32.3%）ありました。比較的農村部に多く見受けられましたが、引越し後も前住所地の自治会に加入しているケースなどが考えられます。

問 2 3 加入促進のためにどのようなことに取り組んでいますか。

加入促進の取り組み	自治会	割合
①自治会で作成したポスターやチラシを配布するなど啓発に努めている	7	3.6%
②戸別訪問して加入を呼びかけている	46	24.0%
③特に何もしていない	102	53.1%
④その他	3	1.6%
⑤未記入	34	17.7%
計	192	100%

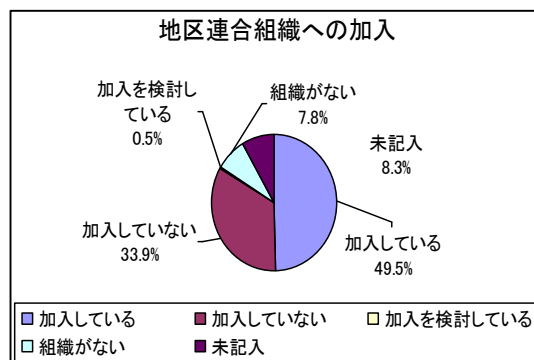


加入促進の取り組みとして、46 自治会（24.0%）が「戸別訪問して加入を呼びかけている」ほか、7 自治会では、ポスターやチラシを配布して加入促進のために啓発に努めていることが分かりました。また、102 自治会（53.1%）が「特に何もしていない」と回答しています。

自治会の連合組織についておたずねします。

問 2 4 あなたの自治会は地区連合組織（自治会の連合体のこと）に加入していますか。

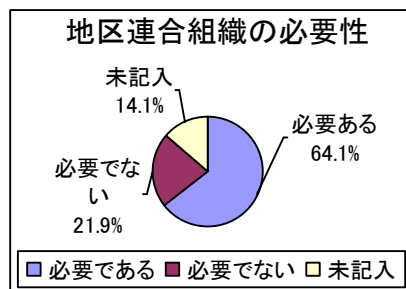
地区連合組織	自治会	割合
加入している	95	49.5%
加入していない	65	33.9%
加入を検討している	1	0.5%
組織がない	15	7.8%
未記入	16	8.3%
計	192	100%



地区連合組織に「加入している」と回答した自治会が 95 自治会（49.5%）、「加入していない」と回答した自治会が 65 自治会（33.9%）となりました。

問 2 5 地区連合組織は必要だと思いますか。

区分	自治会	割合
必要である	123	64.1%
必要でない	42	21.9%
未記入	27	14.1%
計	192	100%

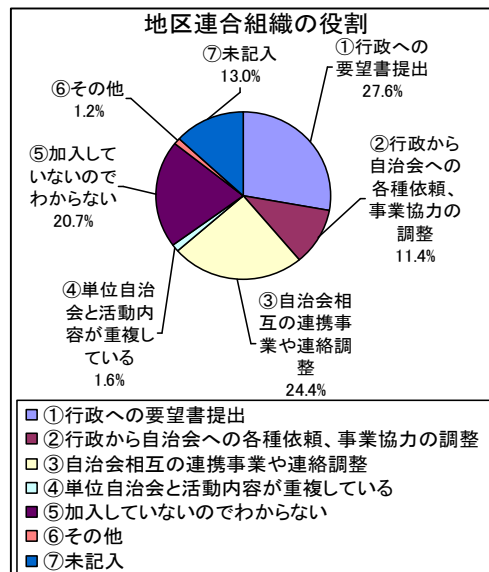


地区連合組織は「必要である」と回答した自治会は 123 自治会（64.1%）ありました。問 25 で地区連合組織に加入している自治会数よりも多いことから、地区連合組織の必要性を感じている自治会が多いことが分かりました。一方で「必要でない」との回答とした自治会も 42 自治会（21.9%）ありました。

問 2 6 地区連合組織の役割について、どのように考えていますか。

(複数回答有)

地区連合組織の役割	自治会	割合
行政への要望書提出	68	27.6%
行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整	28	11.4%
自治会相互の連携事業や連絡調整	60	24.4%
単位自治会と活動内容が重複している	4	1.6%
加入していないのでわからない	51	20.7%
その他	3	1.2%
未記入	32	13.0%

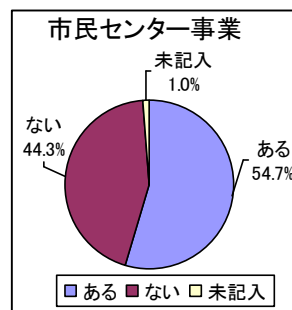


地区連合組織の役割としては「行政への要望書提出」が 68 自治会 (27.6%) や「自治会相互の連携事業や連絡調整」が 60 自治会 (24.4%) という回答が出されています。そのほか「加入していないのでわからない」が 51 自治会 (20.7%) となりました。

地域づくり協議会等の主催事業への参加についておたずねします。

問 2 7 市内 4 地区の地域づくり協議会等により市民センターが運営されていますが、昨年 1 年間にあなたの自治会は市民センター事業に参加したことはありますか。

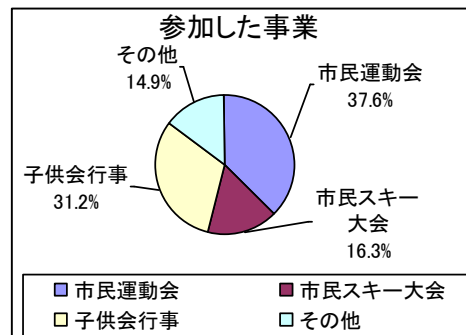
区分	自治会	割合
ある	105	54.7%
ない	85	44.3%
未記入	2	1.0%
計	192	100%



参加した事業は何ですか。(参加した 105 自治会の回答)

(複数回答有)

参加事業	自治会	割合
市民運動会	76	37.6%
市民スキー大会	33	16.3%
子供会行事	63	31.2%
その他	30	14.9%



昨年 1 年間に市民センター事業に参加した自治会は 105 自治会 (54.7%) となっており、4 割以上の自治会では参加をしていないことが分かりました。

参加した事業としては「市民運動会」が最も高く 76 自治会 (37.6%)、「子ども会行事」が 63 自治会 (31.2%)、「市民スキー大会」が 33 自治会 (16.3%) のほか、文化祭なども挙げられています。

問 2 8 参加しない理由は何ですか。(参加していない 85 自治会の回答)

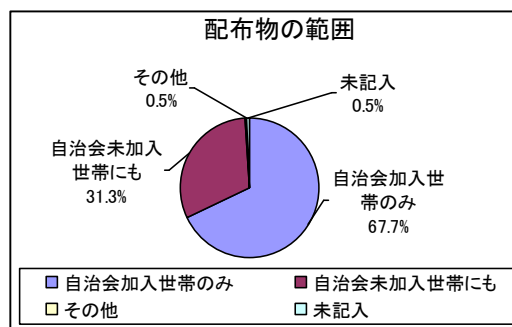
参加しない理由	自治会	割合
少子高齢化	38	44.7%
会員に関心が無い	7	8.2%
遠い	5	5.9%
その他	21	24.7%
未記入	14	16.5%
計	85	100%

参加しない理由としては、「少子高齢化」のため事業に参加できないと回答した自治会が 38 自治会（44.7%）ありました。「その他」の理由には、「参加したいような事業がない」、「センターの事業について知らない」という回答もありました。より多くの方に参加してもらえるように P R 手法などを検討する必要があります。

広報等配布物の配布状況や取扱いについておたずねします。

問 2 9 広報等の配布物はどの範囲まで配布していますか。

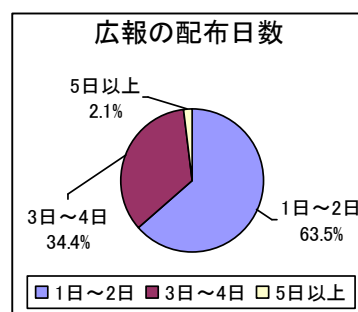
広報等配布の範囲	自治会	割合
自治会加入世帯のみ	130	67.7%
自治会未加入世帯にも	60	31.3%
その他	1	0.5%
未記入	1	0.5%
計	192	100%



広報等の配布物の範囲としては、「自治会加入世帯のみ」と回答した自治会が 130 自治会（67.7%）、「自治会未加入世帯にも配布」と回答した自治会が 60 自治会（31.3%）となりました。

問 3 0 広報等が手元に届いてから、各世帯に配布が完了するまでに必要な日数は概ね何日ですか。

日数	自治会	割合
1 日～2 日	122	63.5%
3 日～4 日	66	34.4%
5 日以上	4	2.1%
計	192	100%



広報等を各世帯に配付が完了するまでに要する日数については、「1 日～2 日」が 122 自治会（63.5%）、「3 日～4 日」が 66 自治会（34.4%）であることが分かりました。しかし、世帯数が多いなどの理由で 4 自治会が「5 日以上」必要であると回答しています。

問 3 1 広報等配布物の取扱いについて意見・要望などありましたらご記入下さい。

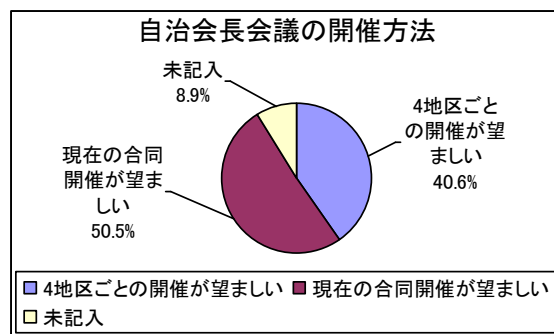
区 分		理 由 等
1	広報配布物について (18 自治会)	・出来るだけ広報に集約して欲しい ・緊急時以外は配布物を出さない様にして欲しい ・希望者のみに配布 ・隔月配布（偶数月、奇数月に配布するのを分ける） ・内容を簡潔にして欲しい
2	配布日について (5 自治会)	・1 日号以外の配布物をあまり出して欲しくない ・発行したら速やかに配って欲しい ・当自治会は 160 以上の世帯数です。選挙公報や緊急配布など日数がかかるので、配慮をお願いしたい ・配布し終わった時に又配布物が来るのは困る
3	配布枚数について (7 自治会)	・申告している世帯数に合っていない ・『回覧』は班数プラス 1 枚でお願いしたい ・無駄な出費になっていると思う
4	用紙や束ね方について (8 自治会)	・右閉じ、左閉じを統一して欲しい ・大きさを統一して欲しい（B4 の場合は 2 つ折りにして欲しい） ・封筒を再利用しているので、テープ等は最小限で封をして欲しい ・もうひと回り大きい封筒が良い ・封筒ではなく、紙帯でいいと思う
5	その他の意見	・営利を目的としたカタログ販売を禁止して欲しい ・県、市、他団体等ある程度区分されてくれば見易い ・今年より自治会未加入者には広報を配布しない ・活字の大きさを高齢者が読みやすいようにして欲しい ・アパート内に責任者を設置して欲しい ・世帯主の名前を書いておくか、直接郵送にして欲しい（市民税、県民税等） ・農家地域のため、他の作付が無い人の分まで配布物が欲しい

多くの自治会が、広報配布時に難儀していることがよくわかる結果となりました。自治会の負担をなるべく軽減できるような仕組みを検討する必要があります。

自治会長会議についておたずねします。

問32 自治会長会議は平成20年度まで市内4地区で開催していましたが、現在は交流センターで開催しています。開催方法について該当する番号に○をつけてください。

開催方法	自治会	割合
4地区ごとの開催が望ましい	78	40.6%
現在の合同開催が望ましい	97	50.5%
未記入	17	8.9%
計	192	100%

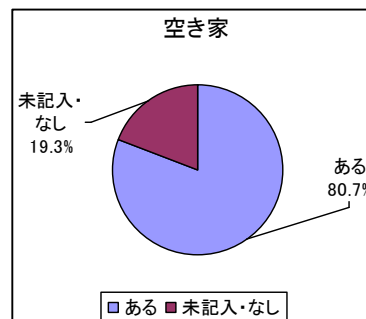


自治会長会議の開催方法については、「現在の合同開催が望ましい」と回答した自治会が97自治会（50.5%）、「4地区ごとの開催が望ましい」と回答した自治会が78自治会（40.6%）と、現在の合同開催が約10%上回りました。しかし、4地区ごとの開催を希望する自治会からは、「合同開催では意見を出しづらい」、「質問時間が短すぎる」など様々な意見が出されました。今回出された意見を参考とし、これからの自治会長会議の在り方を検討して参ります。

自治会内の空き家の状況についておたずねします。

問33 あなたの自治会内に空き家がありますか。

区分	自治会	割合
ある	155	80.7%
未記入・なし	37	19.3%
計	192	100%



全自治会内の空き家の総軒数（579 軒）



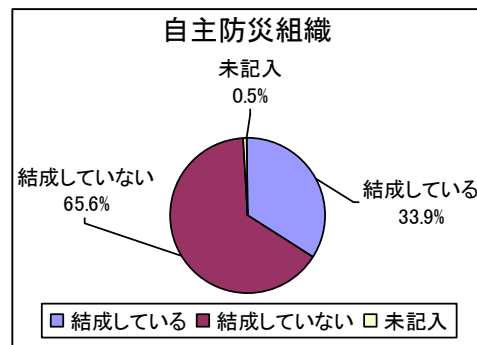
この内、自治会が管理している軒数（13 軒）
 この内、所有者が適切に管理している軒数（405 軒）
 この内、全く管理されていない軒数（135 軒）
 この内、管理について記載がない軒数（26 軒）

空き家について、155自治会（80.7%）が「ある」と回答しました。自治会で把握している空き家の総軒数は579軒ですが、そのうち、全く管理されていない放置空き家の件数が135軒となっており、自治会内で景観や防犯・防災上で課題になっていることが推察されます。

防災についておたずねします。

問 3 4 貴自治会では自主防災組織を結成していますか。

自主防災組織	自治会	割合
結成している	65	33.9%
結成していない	126	65.6%
未記入	1	0.5%
計	192	100%



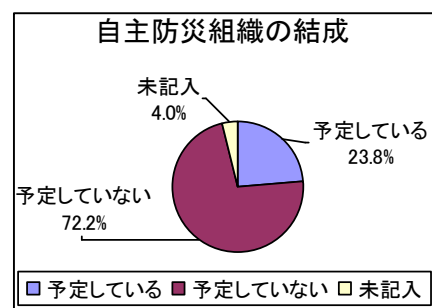
問 3 5 今後、自主防災組織を結成する予定はありますか。(未結成自治会のみ回答)

○今後の結成予定

区分	自治会	割合
予定している	30	23.8%
予定していない	91	72.2%
未記入	5	4.0%
計	126	100%

○結成予定年度(30 自治会中)

区分	自治会
23 年度	6
24 年度	15
25 年度～	3
未記入	6



自主防災組織を既に結成している自治会は、65 自治会（33.9%）ありました。また、今後結成を予定している 30 自治会のほとんどが今後 2～3 年の間に結成する予定であることが分かりました。大震災の影響もあり、立ち上げを考える自治会は今後もっと増えて行くものと推察されます。

また、自主防災組織を結成していない理由として、「少子高齢化による人手不足」や「地域住民の関心が少ない」などを挙げていることから、そうした自治会に対するサポートが必要となっています。

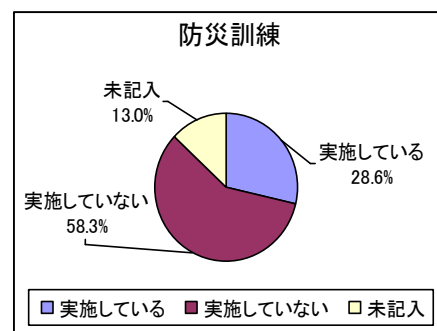
問 3 6 自治会または自主防災組織で防災訓練を実施していますか。

○防災訓練

区分	自治会	割合
実施している	55	28.6%
実施していない	112	58.3%
未記入	25	13.0%
計	192	100%

○実施回数（55 自治会中）

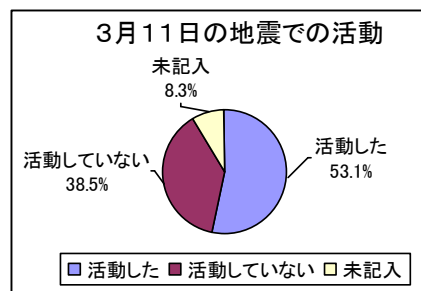
区分	自治会
年 1 回	35
年 2 回	6
2 年に 1 回	3
今年度予定	3
未記入	8



防災訓練を「実施している」と回答した自治会は 55 自治会（28.6%）、「実施していない」と回答した自治会は 112 自治会（58.3%）でした。また、「実施している」自治会の多くが年 1 回開催していることが分かりました。

問 3 7 3 月 1 1 日の地震の際、自治会または自主防災組織で活動しましたか。

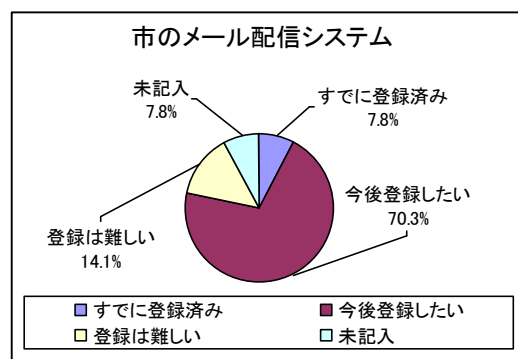
区分	自治会	割合
活動した	102	53.1%
活動していない	74	38.5%
未記入	16	8.3%
計	192	100%



東日本大震災の際、自治会や自主防災組織で「活動した」と回答した自治会は、102 自治会（53.1%）でした。活動した主な内容として、高齢者・一人暮らし宅の安否確認や被災の有無の確認などが挙げられています。

問 3 8 市では今年度、気象情報や避難情報をより素早くできるだけ多くの方へ発信するため、メール配信システムを更新する予定です。各自治会への連絡手段として効果的であると考えておりますが、携帯電話メールアドレスの登録についてどのようにお考えですか。

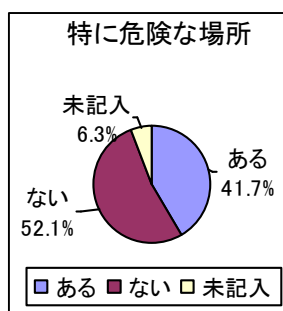
区分	自治会	割合
すでに登録済み	15	7.8%
今後登録したい	135	70.3%
登録は難しい	27	14.1%
未記入	15	7.8%
計	192	100%



メール配信システムについては既に登録済みの自治会は、15 自治会（7.8%）と、少ない結果となったものの、今後登録したいと考えている自治会は 135 自治会（70.3%）と、とても関心が高いことが伺えます。

問 3 9 自治会区域内で、特に危険（危険箇所・災害など）とを感じる場所がありますか。

危険箇所	自治会	割合
ある	80	41.7%
ない	100	52.1%
未記入	12	6.3%
計	192	100%



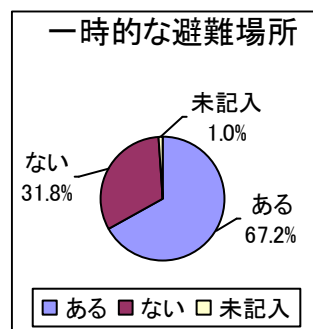
危険とを感じる場所

①山・崖（急傾斜地・土砂崩れ）	22 自治会
②河川・水路（増水・氾濫・堤防・橋など）	21 自治会
③市道・国道（急カーブ・道路幅が狭い・ひび割れなど）	19 自治会
④通学路（歩道・ガードレール・熊が出没など）	6 自治会

危険とを感じる場所があると回答した自治会は、80 自治会（41.7%）でした。その主な場所として、付近の山や河川、道路などが挙げられています。

問 4 0 自治会区域内に、災害時に一時的な避難場所としている施設・場所がありますか。

危険箇所	自治会	割合
ある	129	67.2%
ない	61	31.8%
未記入	2	1.0%
計	192	100%



避難場所としている施設・場所

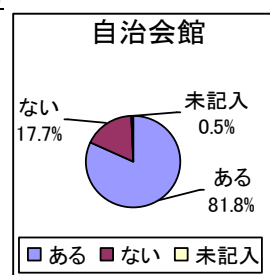
①自治会館	85 自治会
②広場・公園・グラウンド・運動場	19 自治会
③小学校・中学校・高校	13 自治会
④市民センター	10 自治会
⑤神社・寺	6 自治会

災害時に一時的な避難場所があると回答した自治会は 129 自治会（67.2%）でした。自治会の主な避難場所としては、自治会館が 85 自治会と多いですが、他には広場、学校、市民センターなどが挙げられており、自治会で一時避難場所を設けず、市で指定する第一避難所等を優先している自治会もありました。

自治会館についておたずねします。

問 4 1 あなたの自治会に自治会館はありますか。

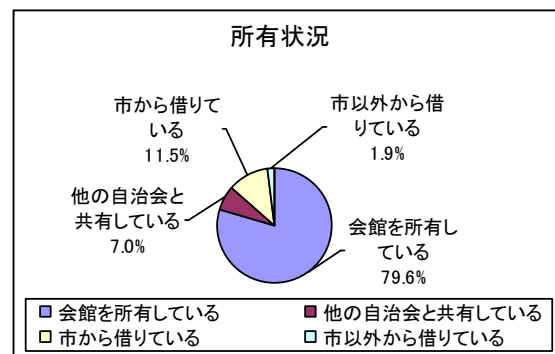
区分	自治会	割合
ある	157	81.8%
ない	34	17.7%
未記入	1	0.5%
計	192	100%



自治会館が「ある」と回答した自治会は、157 自治会（81.8%）ですが、34 自治会（17.7%）では会館を所有していないことが分かりました。

問 4 2 自治会館の所有状況について該当する番号に○をつけてください。（自治会館のある自治会のみ回答）

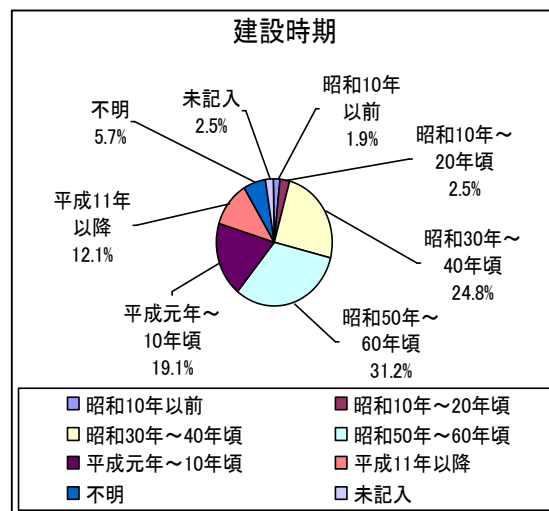
会館所有状況	自治会	割合
会館を所有している	125	79.6%
他の自治会と共有している	11	7.0%
市から借りている	18	11.5%
市以外から借りている	3	1.9%
計	157	100%



自治会館の所有状況については「会館を所有している」と回答した自治会が、125 自治会（79.6%）ありました。ほかには「他の自治会と共有している」や「市から借りている」との回答も複数ありました。

問 4 3 自治会館の建設時期はいつですか。

建設時期	自治会	割合
昭和 10 年以前	3	1.9%
昭和 10 年～20 年頃	4	2.5%
昭和 30 年～40 年頃	39	24.8%
昭和 50 年～60 年頃	49	31.2%
平成元年～10 年頃	30	19.1%
平成 11 年以降	19	12.1%
不明	9	5.7%
未記入	4	2.5%
計	157	100 %

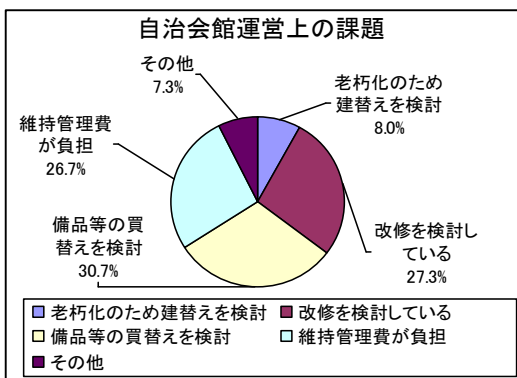


自治会館の建設時期の中で、88 自治会が昭和 30～60 年頃に会館を建設したと回答しており、この時期に集中していました。自治会館の半数以上が建設してから 30 年以上経過していることが分かりました。

問 4 4 自治会館運営上の課題等について該当する番号に○をつけてください。

（複数回答有）

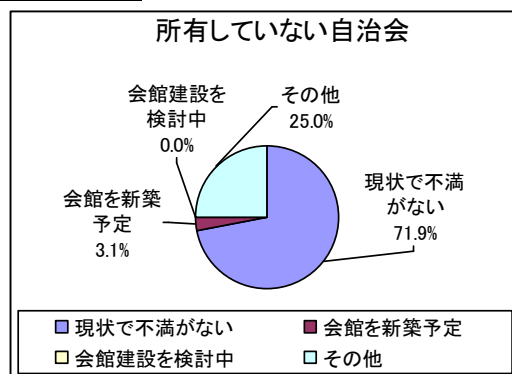
会館運営上の課題	自治会	割合
会館が老朽化しており、建て替えを検討している	12	8.0%
改修を検討している	41	27.3%
備品等の買い替えを検討している	46	30.7%
維持管理費が負担になっている	40	26.7%
その他	11	7.3%



自治会館運営上の課題等について、「備品等の買い替えを検討している」が 46 自治会（30.7%）、「改修を検討している」が 41 自治会（27.3%）、「維持管理費が負担になっている」が 40 自治会（26.7%）ありました。施設設備の老朽化に伴う改修や更新を検討している自治会とともに維持管理費の負担を課題に挙げています。

問 4 5 自治会館を所有していない自治会にお聞きします。

区分	自治会	割合
現状で不満がない	23	71.9%
会館を新築予定	1	3.1%
会館建設を検討中	0	0.0%
その他	8	25.0%
計	32	100%



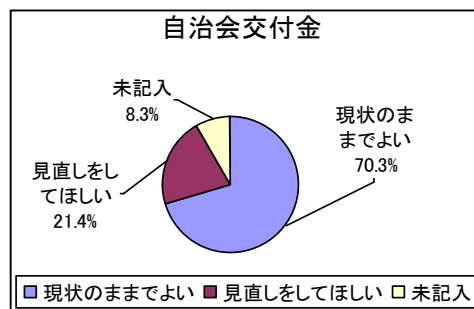
会館を所有していない 32 自治会のうち、「現状で不満がない」と回答した自治会が 23 自治会（71.9%）となりました。「その他」に地区市民センターや地域の神社を借りて会議等を行っている自治会がありました。

自治会を支援する制度についておたずねします。

問 4 6 自治会振興交付金の内容について、考えに一番近い番号に○をつけてください。

交付額 = 基本額（24,600 円～33,400 円）＋広報を配布する世帯対応額（600 円×世帯数）
 （例）50 世帯の場合 25,800 円＋600 円×50 世帯＝55,800 円

区分	自治会	割合
現状のままでよい	135	70.3%
見直しをしてほしい	41	21.4%
未記入	16	8.3%
計	192	100%

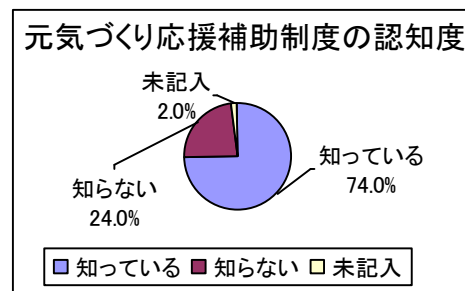


自治会振興交付金の内容について、「現状のままでよい」が 135 自治会（70.3%）、「見直しをしてほしい」が 41 自治会（21.4%）ありました。希望する見直し内容は、自治会の会計が逼迫しているため基本額を増額してほしいなどの意見が出されています。

問 4 7 自治会元気づくり応援補助制度を知っていますか。

福祉事業、環境整備事業、文化事業、交流事業など主に活動費に対して補助金を交付します。補助率は 2 分の 1、限度額は 10 万円です。

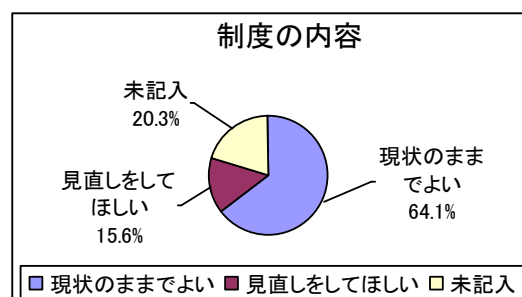
区分	自治会	割合
知っている	142	74.0%
知らない	46	24.0%
未記入	4	2.0%
計	192	100%



自治会元気づくり応援補助制度を「知っている」自治会は 142 自治会（74.0%）でした。この補助制度を「知らない」自治会は 46 自治会（24.0%）と少なくないことから、今後も周知に向けて広報等で P R に努めてまいります。

問 4 8 自治会元気づくり応援補助制度の内容について、考えに一番近い番号に○をつけてください。

区分	自治会	割合
現状のままでよい	123	64.1%
見直しをしてほしい	30	15.6%
未記入	39	20.3%
計	192	100%

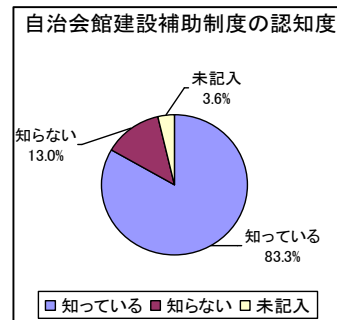


補助制度の内容が「現状のままでよい」が 123 自治会（64.1%）に対し、「見直しをしてほしい」が 30 自治会（15.6%）ありました。見直しの内容としては「補助率を上げて欲しい」や「毎年交付してほしい」などの意見が出されています。

問 4 9 自治会館建設費補助制度を知っていますか。

自治会館の新增築や改修に対して補助金を交付します。新築は、会館規模に応じて補助金を算定し、補助率は概ね 30%以内です。改修は、補助率は 2 分の 1、限度額は 100 万円です。

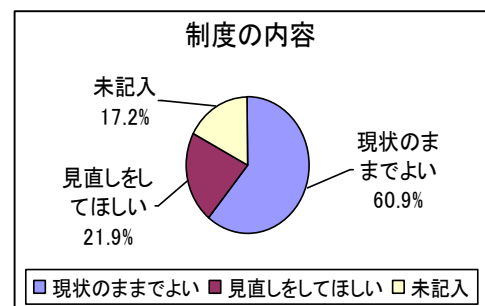
区分	自治会	割合
知っている	160	83.3%
知らない	25	13.0%
未記入	7	3.6%
計	192	100%



自治会館建設費補助制度を「知っている」は 160 自治会（83.3%）でした。この補助制度を「知らない」も 25 自治会（13.0%）あることから、今後も周知に向けて広報等で P R に努めてまいります。

問 5 0 自治会館建設費補助制度の内容について、考えに一番近い番号に○をつけてください。

区分	自治会	割合
現状のままでよい	117	60.9%
見直しをしてほしい	42	21.9%
未記入	33	17.2%
計	192	100%



補助制度の内容が「現状のままでよい」が 117 自治会（60.9%）に対し、「見直しをしてほしい」が 42 自治会（21.9%）ありました。見直しの内容としては「補助率を上げて欲しい」や「補助額の上限を上げてほしい」などの意見が出されています。

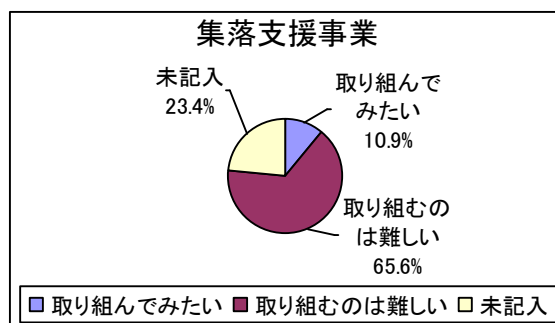
問 5 1 現在の支援制度以外に新たに自治会を応援する取り組みや支援制度を希望する場合は、下記にその内容をご記入ください。

（自由記載）

- ・バスの運賃の助成は J R も対象にして欲しい。
- ・老人、子供、幼児が安心して交流できる広場や遊具などがある施設。
- ・集落の稲荷神社の石段が老朽化の為、所処欠落して危険なので、補修に対する支援があればよい。
- ・小規模水道の 3 年に 1 回の検査料 175,000 円の負担が大きいので多少の援助を頂ければ有難い。
- ・農村部の会館は立派。町部（10 町内）の町部費用の施設が欲しい。（運動、学習も出来るような）
- ・老人クラブ・子供会などが連合で行う行事等に対しての支援が欲しい。
- ・内容と適切な助言指導を強化して頂きたい。
- ・自治会活動は市政に直結するもの。現在以上に自治会活動の相談指導専門担当者をお願いしたい。
- ・支援事業の補助以外の費用についても一時立て替えをして頂ければ事業の取り組みが容易に思う。

問5-2 市では、今年度から集落支援事業をスタートし、モデル集落として3集落の各世帯の聴き取り調査を実施するほか、調査報告会を開催して集落ごとの自主的な取り組みを支援することになっています。あなたの自治会では、この事業に取り組むことができますか。

区分	自治会	割合
取り組んでみたい	21	10.9%
取り組むのは難しい	126	65.6%
未記入	45	23.4%
計	192	100%



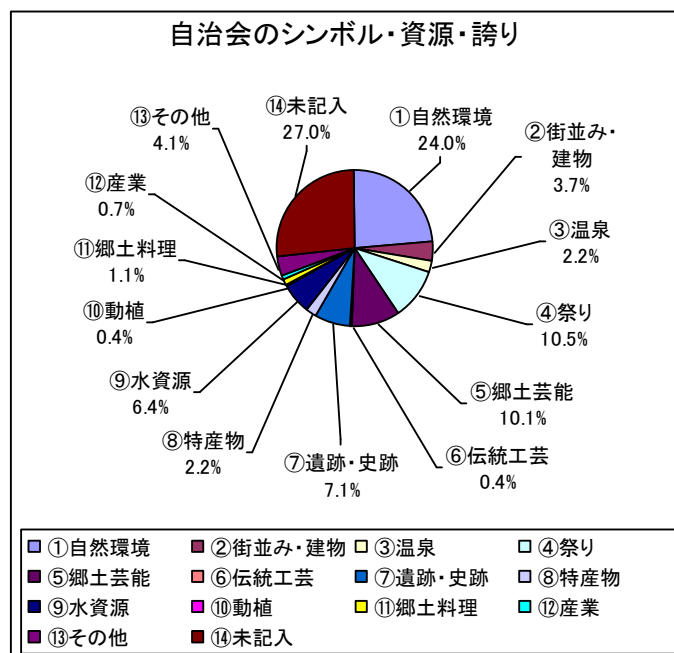
集落支援事業に「取り組んでみたい」と回答した自治会は、21自治会（10.9%）にとどまりました。この理由として、「事業内容や取り組むメリットがよくわからない」との回答も多く出されています。現時点で必要性がないと判断した自治会もあると思いますが、制度の目的や内容等の周知に向けて広報等でPRしていく必要があります。

自治会の特徴・魅力・課題などについておたずねします。

問5-3 自治会内でのシンボル・資源・誇りに思うものはなんですか。該当するものすべてに○をつけてください。

（複数回答有）

区分	自治会	割合
①自然環境	64	24.0%
②街並み・建物	10	3.7%
③温泉	6	2.2%
④祭り	28	10.5%
⑤郷土芸能	27	10.1%
⑥伝統工芸	1	0.4%
⑦遺跡・史跡	19	7.1%
⑧特産物	6	2.2%
⑨水資源	17	6.4%
⑩動植物	1	0.4%
⑪郷土料理	3	1.1%
⑫産業	2	0.7%
⑬その他	11	4.1%
⑭未記入	72	27.0%
計	267	100%

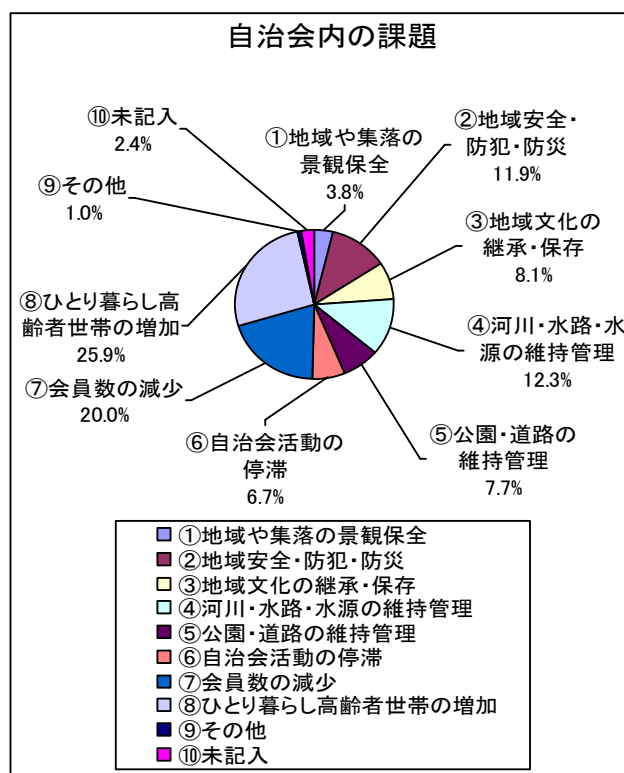


それぞれの自治会で、様々な特徴や魅力があることが分かりました。中でも「自然環境」と回答した自治会が64自治会（24.0%）と一番多く、ほかにも伝統の「祭り」や「郷土芸能」、「遺跡・史跡」、「水資源」があるなどの回答が多く出されました。それぞれの地域の特徴や資源を活かして地域活性化に取り組んでいく必要があります。

問5 4 自治会内で現在、課題となっていることは何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

(複数回答有)

区分	自治会	割合
①地域や集落の景観保全 (原風景の保存など)	19	3.8%
②地域安全・防犯・防災	59	11.9%
③地域文化の継承・保存	40	8.1%
④河川・水路・水源の維持管理	61	12.3%
⑤公園・道路の維持管理	38	7.7%
⑥自治会活動の停滞 (これまで実施していた事業の見直しや廃止など)	33	6.7%
⑦会員数の減少 (若年世代の減少、後継者や跡継ぎの不在など)	99	20.0%
⑧ひとり暮らし高齢者世帯の増加	128	25.9%
⑨その他	5	1.0%
⑩未記入	12	2.4%
計	494	100%



自治会内での課題として、「ひとり暮らし高齢者世帯の増加」を回答した自治会が 128 自治会 (25.9%) と最も多く、続いて「会員数の減少」が 99 自治会 (20.0%)、「河川・水路・水源の維持管理」が 61 自治会 (12.3%)、「地域安全・防犯・防災」が 59 自治会 (11.9%) となっています。少子高齢化の影響に伴い、複数の課題を抱えていることが分かる結果となりました。

問5 5 その他、自治会に関して要望や意見などを自由にご記入ください。

(自由記載)

○少子高齢化・自治会存続について

- ・ 集金業務が自治会等に安易に来るので班長にお願いしているが、高齢班長には負担が大きい。
- ・ 婦人会は自治会での役割は大きいと思うが、だんだんバアチャン組合になっている。このままでは青年会と同じ道を辿ってしまう。
- ・ 自治会構成世帯の減少、構成会員の高齢化で年々会員数が減っているが、自治会の中では互いに係わり合いながら物事を進めており、小さな自治会として今後も存続して行きたいと思う。他自治会との統合とかは会員が埋没してしまうと思われるし、活動に不参加は罰金という世界に耐えられないと思う。
- ・ 助ける人より助けられる人の方が増え、老老介護となる。
- ・ とにかく地域に子どもがいない。少子化対策を行ったはずだが、いつになったら成果は出るのか？
- ・ 一人暮らしの高齢者の増加。
- ・ 若者が結婚しないので将来（自治会の存続）が心配。
- ・ 若者がいない為、自治会として何も活動が出来ない現状だが、市にお願いするのも限度がある為、現状維持できれば良いと思う。
- ・ 60代の人達が自治会を運営している状況。役員の顔ぶれが変わらない。

- ・自治会役員に若い会員を加えることによって、活動に活気が出てきた。

○地域の生活環境について

- ・自治会の設定区域の住民は必然的に設定区域の自治会に入る様な設定指導をして欲しい。（農家の場合は、昔からの繋がりもあるかもしれないが、その場合は任意でそちらにも入る。）
- ・現在、広場（公園）は借り上げの土地ですが、市の所有にして欲しい。
- ・当自治会では敬老会に喜んで参加する人がいません。もう少しご検討欲しいものです。
- ・自治会区域が散在する場合、自主防災組織での防災訓練等は実施が難しい。
- ・自主防災組織を立ち上げたが、機材の購入や訓練等はこれからなので、推進したい。
- ・道路の維持管理が以前より良くなった。
- ・自治会加入制度を検討してもらいたい。（鹿角市民であれば必ず自治会に加入しなければならない制度。）募金や寄付金等様々な不平等がある。
- ・国道 282 号と当地入口に信号機を設置する要望書を提出しています。早期実現出来るようにお願いします。（危険な状況が毎日見られる。）
- ・中央病院裏側の水路が生活排水の為、汚泥が積もっている。衛生上も悪く、悪臭にも困っている。
- ・毎年その都度、要望を行っている。
- ・市の財政支援を頂きたい。市道、橋、用水路の整備、農道、林道の砂利敷き。（用材、砂利）
- ・市道の整備（特に舗装）、資材の支給（水路）
- ・雪が降ると会館に除雪車が入っていけないので道路拡張、舗装してください。
- ・会館取得を機会に会館維持管理規定見直しを検討しておりますが、三自治会一会館共同利用規定づくりには思いの外難題に苦勞しています。そこで、他自治会で会館を共同利用している模範的自治会の情報をお願いします。

○自治会運営について

- ・県長寿課の地域支え合い体制づくり計画補助を活用する中で自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会等と提携し環境美化、独居老人世帯の見廻り、除雪作業等の実施を計画。
- ・ボランティア活動「結っこの会」を組織し、活動する計画。
- ・私有財産ではあるが、空き家対策を真剣に考えて欲しい。廃屋のまま放置される前に公的な対策を！
- ・市役所の人員削減の為、色々な仕事が直接自治会に来ることが多くなった。自治会長の仕事は自治会住民の苦情の受付から緊急事態の対応など、多岐に渡っており大変。ボランティアのつもりでやっているが、対応の仕方によっては責任も問われかねない。
- ・自分たちの自主性（特性）を持って運営。お祭りは他自治会の協力で維持。元気な高齢者の組織を作り活動したい。（特に男性のメタボ）

○その他

- ・コミュニケーションの活発化をするために早め早めのキャッチボールが必要。連絡方法としては電話ばかりでなく、顔と顔の接し方を考慮した方が良い。
- ・時には幹部も窓口に出て市民と接しては？
- ・全て課題。

- ・市民共働課になって、自治会長の負担が非常に大きくなった。
- ・役所内で職員と顔を合わせても挨拶が無い。人間関係を築くには挨拶が始まりと思う。共に明るい職場、関係を築きませんか。
- ・以前、市長との話し合いの場を設けて貰いましたが、次回までの期間がいつなのか分からない。市長に限らず、市の職員の方とでも年1回程度の話し合いの場を設けて欲しい。
- ・行政は規則、手続き優先はある程度は理解出来るが、住民が主の規則にして欲しい。
- ・地域の活性化は住民の生活を主とする場合は、市社協が中心になって行うのが望ましいと考える。行政は“お金を出し”“効果測定”をするだけだと思う。
- ・縦割行政では融通が利かないことが多く、規則通りだけでなくもっと住民に温かく接して欲しい。
- ・無料総合相談を利用する際に、相談員のスケジュールが分かればなお良い。相談員にも得意、不得意なものがあるでしょうから。
- ・長期的な支援に関して、もう少しきめ細やかな支援体制というものを打ち出して欲しい。その為にもっと、色々な意見を拾い上げる機会を作り、そしてそれが将来の住みよい鹿角を目指すことが出来ると思われる意見には報酬を出すぐらいの策も必要ではないか。市民3万の中にも面白い、素晴らしい発想を持った人がいることもお忘れなく。
- ・自分の孫達への寄金は送られず、地元の知らない子ども達に寄金を出すのに少し抵抗を感じている住民が増えた。
- ・児童の減少から統合校にするときは、柴平と一緒に鹿角市立東小学校として欲しい（大湯とは通学のための道路事情が悪すぎる為。）
- ・草木を流れている根市川は草木川にして欲しい。
- ・鹿角市十和田草木は十和田を取って、鹿角草木にして欲しい。
- ・『遠い親戚より近くの他人』&『向こう三軒両隣組ッコ』★声掛け★見守り★安否確認★手渡し配布★参加する事に意義あり★をスローガンにしている